

茨木市議会議員(無所属)



あびこ浩子 ゆめ・みらい通信



新しい茨木市議会の役職が
決まりました！



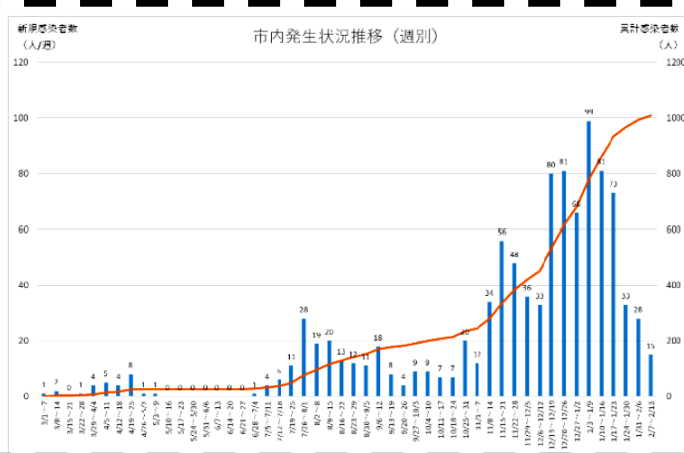
みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

2月8日(月)から10日(水)までの3日間、2月臨時議会が開催されました。思惑が働きなかなかすなり決まりません。毎年2月は役員選出議会として議長・副議長などを決めます。今年は改選後初の議会でしたので新たな会派構成での役員決めとなりました。

改選後の会派構成は維新6、公明6、自民5、いばらき未来3、共産3、会派に所属しない議員5、となりました。役員決めは会派の力関係で決まります。6人の維新・公明、5人の自民が役職を取り合う形となります。決め方は新たに選考委員会(指名委員会)を結成します。構成員は会派ごとに一人ずつ委員を出して話し合いで決まります。選考委員会の委員長は前年度議長をしていた会派の代表者がすることになっていますので、今回はわが会派が委員長を引きうけることとなり稲葉議員が選考委員長となりました。結果は議長が公明党(河本議員)副議長が自民党

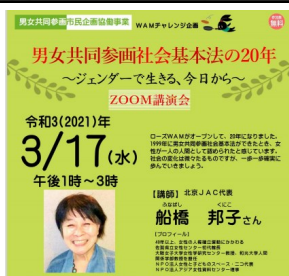
(福丸議員)監査委員は維新(岩本議員)と未来(稲葉議員)となりました。私は議会運営委員会・民生常任委員会・都市計画審議会・中心市街地活性化特別委員会に所属します。

茨木市の新型



01/24~01/30	33人
01/31~02/06	28人
02/07~02/13	15人

コロナウイルス感染状況ですが、2月14日(日曜日)更新 2月14日に追加された方は1人で、累計は1011人です。大阪府は98人でした。



舟橋邦子氏後援会チラシ

【あびこ浩子プロフィール】

- ◆ 玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了／大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆ 1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人Chacha-House代表理事／2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長／2020穂積地区福祉委員会顧問
- ◆ 2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1選挙2期目当選／2013・1選挙3期目当選／2017・1選挙4期目当選／2021・1選挙5期目当選
- ◆ 穂積地区 在住

あびこ浩子連絡先

電話・FAX 072(655)8460(留守時はメッセージをお願いいたします。)

Email: contact@hiroko-abiko.jp

茨木市紫明園10-74-405

http://www.hiroko-abiko.jp



【3月17日開催】WAMチャレンジ企画 ZOOM講演会

「男女共同参画社会基本法の20年
～ジェンダーで生きる、今日から～」

ローズWAMがオープンして20年。1999年に男女共同参画社会基本法ができてから社会の変化は微々たるものですが、一歩一歩確実に歩んでいきましょう。

＜講師＞ 舟橋邦子さん(北京JAC代表)

＜開催日＞ 3月17日(水曜日)午後1時～3時

＜場所＞ ZOOMを使った講演会です。通信環境の良い静かな場所をお勧めします。

＜申込み＞ 03月01日(月曜日)～03月15日(月曜日)
申込フォームにて受付

＜定員＞ 先着80人

＜費用＞ 無料

＜受講方法＞ 講演会申し込み後、URL等(接続テスト方法含む)を郵送またはメールでお知らせします。

※3月12日(金曜日)10時～(予定)で、ZOOM接続テストを行います。

お申し込みは3月1日(月)午前9時から
申込フォームにて受付



右のQRコードを読み取り、
申込フォームにご記入のうえ
送信してください。



お問い合わせは ☎ 620-9920

お互いさまと思える茨木に！
生活者の視点を政治に！



ファイザーワクチンを特例承認 厚生労働省Q&Aより

米製薬大手ファイザーとドイツのバイオ企業ビオンテックが開発した新型コロナウイルスのワクチンについて、厚生労働省は14日、製造販売を特例承認しました。新型コロナのワクチンが承認されるのは、国内では初めてで、17日にも医療従事者への先行接種が始まります。

先行接種は17日にも国立病院機構など100カ所の医療機関の医療従事者1万～2万人程度を対象に始まる予定とのことです。3月にその他の医療従事者への接種を始め、次に優先順位が高い高齢者の接種は早くても4月1日以降となります。その後は基礎疾患がある人、高齢者施設の職員などと続く予定です。

＜厚生労働省Q&Aより＞

Q：新しい仕組みのワクチンということですが、どこが既存のワクチンと違うのですか？

A：これまで我が国において使用されていたワクチン(不活化ワクチン、組換えタンパクワクチン、ペプチドワクチン)はウイルスの一部のタンパクを人体に投与し、それに対して免疫が出来る仕組みでした。

mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンでは、ウイルスのタンパク質をつくるもとになる情報の一部を注射します。人の身体の中で、この情報をもとに、ウイルスのタンパク質の一部がつくられ、それに対する抗体などができることで、ウイルスに対する免疫ができます。mRNAは、数分から数日といった時間の経過とともに分解されていきます。また、mRNAは、人の遺伝情報(DNA)に組み込まれるものではありません。身体の中で、人の遺伝情報(DNA)からmRNAがつくられる仕組みがありますが、情報の流れは一方通行で、逆にmRNAからはDNAはつくられません。こうしたことから、mRNAを注射することで、その情報が長期に残ったり、精子や卵子の遺伝情報に取り込まれることはないと考えられています。

「毎週火曜日・木曜日の朝はJR茨木駅西口下、水曜日の朝は南茨木駅、金曜日の朝は阪急茨木市駅東口南側」にてご挨拶と週刊通信の配布をしています。お声をかけていただけましたらうれしいです。しかしながら、まだまだ感染予防に気をつけねばなりません。状況を見ながらご挨拶させていただこうと思っております。

